

平成 18 年 12 月 25 日

各 位

会社名 新日本製鐵株式會社  
 コード番号 5401  
 上場取引所 東 大 名 福 札  
 (URL <http://www.nsc.co.jp>)  
 代表者 代表取締役社長 三村 明夫  
 問合せ先 広報センター所長 白須 達朗  
 TEL (03)3275-5014

(訂正) 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結) の一部訂正について

平成 18 年 7 月 31 日に公表いたしました「平成 19 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)」の一部につきまして、下記のとおり訂正致します。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

【訂正箇所 (1 ページ)】

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

【訂正前】

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	4,517,059	1,742,379	36.2	<u>262.44</u>
18 年 3 月期第 1 四半期	3,998,551	1,246,982	31.2	184.92
(参考)18 年 3 月期	4,542,766	1,677,889	36.9	252.66

【訂正後】

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	4,517,059	1,742,379	36.2	<u>246.46</u>
18 年 3 月期第 1 四半期	3,998,551	1,246,982	31.2	184.92
(参考)18 年 3 月期	4,542,766	1,677,889	36.9	252.66

以 上

## 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 18 年 7 月 31 日

上場会社名 新日本製鐵株式會社

(コード番号 : 5401 東、大、名、福、札)

(URL http://www.nsc.co.jp)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 三村 明夫

問合せ先責任者 役職名 広報センター所長 氏名 白須 達朗 TEL : (03)3275-5014

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容)  
法人税や引当金等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。

- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有  
(内容)  
事業の種類別セグメント情報における事業区分を変更しております。  
変更の内容については、2 ページを参照してください。

- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
(内容)  
連結 (新規) 4 社 (除外) 6 社 持分法 (新規) 3 社 (除外) 2 社

## 2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	942,788	4.2	119,590	△18.1	123,079	△19.6
18年3月期第1四半期	904,771	28.9	146,091	160.9	153,139	222.5
(参考)18年3月期	3,906,301		576,319		547,400	

	四半期 (当期) 純利益		1 株当たり四半期 (当期) 純利益		×301 億円
	百万円	%	円	銭	
19年3月期第1四半期	74,748	△18.4	11.26		1)H17 第 1 四半期一過性影響戻り : ×400 億円 (原料キャリアオーバー : ×200 億円,在庫評価差×200 億円) 2)実質増益 : ○100 億円 (+8.8%)
18年3月期第1四半期	91,612	293.1	13.59		
(参考)18年3月期	343,903		51.08		

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期 (当期) 純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

## (2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	4,517,059	1,742,379	36.2	246.46
18年3月期第1四半期	3,998,551	1,246,982	31.2	184.92
(参考)18年3月期	4,542,766	1,677,889	36.9	252.66

(注) 当第 1 四半期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用している。

## [参 考]

平成 19 年 3 月期の連結業績見通し (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日) については、従来通り 9 月上旬に発表予定であり、今回見直しを行っておりません。

(裏面に続く)

### 3. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

#### 当第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

（単位 百万円）

	製鉄事業	エンジニアリング事業	都市開発事業	化学事業	新素材事業	システムソリューション事業	計	消去又は全社	連結
売上高	776,579	71,800	14,032	75,059	15,704	30,832	984,008	(41,220)	942,788
営業費用	666,997	71,745	12,460	70,868	14,768	28,300	865,140	(41,942)	823,198
営業利益	109,582	55	1,571	4,190	935	2,532	118,868	721	119,590

#### 前第1四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

（単位 百万円）

	製鉄事業	エンジニアリング事業	都市開発事業	化学・非鉄素材事業	システムソリューション事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高	738,231	57,283	21,134	86,500	27,202	17,194	947,547	(42,776)	904,771
営業費用	600,883	58,765	17,595	80,334	25,516	17,299	800,395	(41,715)	758,679
営業利益	137,347	△1,481	3,538	6,165	1,686	△104	147,152	(1,060)	146,091

（事業区分の変更）

当社企業集団の事業区分及び表記の方法は、それぞれの事業領域の特性を的確かつ簡潔に表現することを基本方針としているが、平成18年7月1日にエンジニアリング事業、新素材事業を分社し、製鉄事業を中核とする6つの事業セグメント（製鉄、エンジニアリング、都市開発、化学、新素材、システムソリューション）を事業ドメインとして位置付けて、独立的・並列的に事業を推進し、自立的発展を可能とする経営推進体制に再構築したことに伴い、事業区分を一部変更している。具体的な変更点は以下の通りである。

- ① 化学・非鉄素材事業は、化学事業、新素材事業をそれぞれ独立セグメント化するとともに、チタン・アルミ事業を製鉄事業に移管。
- ② その他の事業（電力事業及びサービス・その他の事業）は製鉄事業に移管。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

世界経済につきましては、原油価格の動向等を注視する必要がありますが、全般的には拡大基調を維持しており、我が国経済におきましても、企業収益の改善、設備投資の拡大といった企業部門の好調さが家計部門へ波及しつつあり、国内民間需要に支えられた景気回復が続いております。

国内鋼材需要は、土木分野に関しては依然減少しておりますが、高水準で推移する住宅着工や工場建設等により建築分野は堅調であり、また、自動車、造船、産機等の製造業向けにおいては、外需を中心とした旺盛な需要が継続しております。鋼材輸出面では、当社の主要マーケットである東アジアを中心とした世界的な鋼材需要は堅調であり、高級品分野はタイトな需給が継続しております。一方一般汎用品分野につきましても、東アジアにおける在庫調整の完了を背景にマーケットは急速に改善しておりますが、中国における生産拡大によるマーケットへの影響に引き続き留意する必要があると考えております。

こうしたなか、当社と致しましては、販売価格の維持・改善を最優先課題とし、高級品と一般汎用品とに二極化している市場の状況を踏まえ、高級品分野については、お客様のニーズを的確に把握し生産・販売一体となって対応する一方、一般汎用品分野については、市中在庫の動向等を踏まえ、国内薄板分野を中心とした減産対応を継続する等、実需を見極めながら慎重に対応しております。

エンジニアリング事業につきましては、海外分野等の旺盛な需要を確実に捕捉することにより過去最高レベルの受注残高を確保しており、またコスト改善を通じた収益力向上に取り組んでおります。都市開発事業については、首都圏マンション事業を中心に概ね計画通りに推移しております。化学事業におきましては、原油価格の上昇等の影響はあるものの、概ね計画通りに推移しております。新素材事業では主要市場であるIT・デジタル関連分野が堅調に推移しております。システムソリューション事業におきましても、製造業・流通業を中心に引合い・受注とも堅調な動きを見せており、業績は概ね計画通り順調に推移しております。

以上の結果、第1四半期決算（平成18年4月1日～平成18年6月30日）としましては、連結売上高は9,427億円、連結営業利益は1,195億円、連結経常利益は1,230億円、連結四半期純利益は747億円となりました。

なお、平成18年7月1日にエンジニアリング事業、新素材事業を分社し、新日鉄エンジニアリング(株)・新日鉄マテリアルズ(株)が発足いたしました。これにより、各事業会社が、事業特性に適応し、かつ顧客ニーズに対応する迅速で柔軟な経営を推進することを可能とし、それぞれが利益成長を達成することで連結企業価値向上を目指します。

以上

[ 参考 ]

四半期毎の業績の推移

平成19年3月期

平成18年3月期

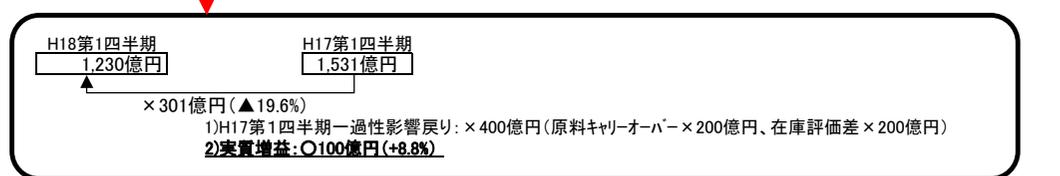
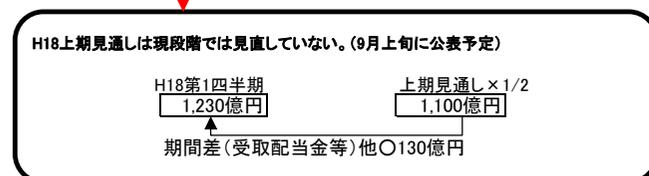
	H18年度 第1四半期	上期見通し (4/28公表)	H18年度見通し (4/28公表)
	18年4月～18年6月	18年4月～18年9月	18年4月～19年3月
売上高	942,788	1,900,000	4,000,000
製鉄事業	776,579	1,560,000	3,220,000
エンジニアリング事業	71,800	155,000	340,000
都市開発事業	14,032	30,000	90,000
化学事業	75,059	150,000	310,000
新素材事業	15,704	25,000	55,000
システムソリューション事業	30,832	65,000	150,000
消去又は全	(41,220)	(85,000)	(165,000)
営業利益	119,590 [12.7%]	225,000 [11.8%]	475,000 [11.9%]
製鉄事業	109,582 [14.1%]	210,000 [13.5%]	430,000 [13.4%]
エンジニアリング事業	55 [0.1%]	2,000 [1.3%]	10,000 [2.9%]
都市開発事業	1,571 [11.2%]	2,000 [6.7%]	7,000 [7.8%]
化学事業	4,190 [5.6%]	7,000 [4.7%]	19,000 [6.1%]
新素材事業	935 [6.0%]	1,000 [4.0%]	2,500 [4.5%]
システムソリューション事業	2,532 [8.2%]	4,000 [6.2%]	12,500 [8.3%]
消去又は全	721	(1,000)	(6,000)
経常利益	123,079 [13.1%]	220,000 [11.6%]	460,000 [11.5%]
当期純利益	74,748 [7.9%]	135,000 [7.1%]	280,000 [7.0%]
1株当たり利益	11.26	20.33	42.16

	H17年度						H17年度 17年4月～18年3月
	第1四半期	第2四半期	中間期	第3四半期	第4四半期	下期	
	17年4月～17年6月	17年7月～17年9月	17年4月～17年9月	17年10月～17年12月	18年1月～18年3月	17年10月～18年3月	
売上高	904,771	958,633	1,863,404	952,701	1,090,195	2,042,896	3,906,301
製鉄事業	738,231	770,874	1,509,105	762,259	786,145	1,548,405	3,057,510
エンジニアリング事業	57,283	70,515	127,799	71,918	136,461	208,379	336,179
都市開発事業	21,134	17,383	38,516	15,711	49,816	65,528	104,045
化学・非鉄素材事業	86,500	93,581	180,081	97,160	95,831	192,991	373,072
システムソリューション事業	27,202	37,583	64,786	30,479	53,074	83,553	148,339
その他の事業	17,194	15,875	33,069	17,606	18,381	35,988	69,057
消去又は全	(42,776)	(47,177)	(89,953)	(42,435)	(49,514)	(91,950)	(181,903)
営業利益	146,091 [16.1%]	155,225 [16.2%]	301,316 [16.2%]	123,138 [12.9%]	151,864 [13.9%]	275,002 [13.5%]	576,319 [14.8%]
製鉄事業	137,347 [18.6%]	145,133 [18.8%]	282,480 [18.7%]	108,970 [14.3%]	122,526 [15.6%]	231,496 [15.0%]	513,977 [16.8%]
エンジニアリング事業	▲1,481 [▲2.6%]	▲1,001 [▲1.4%]	▲2,483 [▲1.9%]	2,365 [3.3%]	9,635 [7.1%]	12,000 [5.8%]	9,517 [2.8%]
都市開発事業	3,538 [16.7%]	987 [5.7%]	4,525 [11.7%]	1,881 [12.0%]	7,748 [15.6%]	9,629 [14.7%]	14,155 [13.6%]
化学・非鉄素材事業	6,165 [7.1%]	5,520 [5.9%]	11,686 [6.5%]	8,218 [8.5%]	7,132 [7.4%]	15,350 [8.0%]	27,037 [7.2%]
システムソリューション事業	1,686 [6.2%]	2,998 [8.0%]	4,683 [7.2%]	2,025 [6.6%]	5,096 [9.6%]	7,122 [8.5%]	11,806 [8.0%]
その他の事業	▲104 [▲0.6%]	313 [2.0%]	208 [0.6%]	▲347 [▲2.0%]	▲1,046 [▲5.7%]	▲1,394 [▲3.9%]	▲1,185 [▲1.7%]
消去又は全	(1,060)	1,275	214	25	771	796	1,010
経常利益	153,139 [16.9%]	141,343 [14.7%]	294,482 [15.8%]	122,294 [12.8%]	130,622 [12.0%]	252,917 [12.4%]	547,400 [14.0%]
当期純利益	91,612 [10.1%]	104,073 [10.9%]	195,685 [10.5%]	74,422 [7.8%]	73,795 [6.8%]	148,217 [7.3%]	343,903 [8.8%]
1株当たり利益	13.59	15.43	29.02	11.03	11.03	22.06	51.08

※各利益欄下段の【 】内は売上高利益率  
※消去又は全社における( )はマイナスを表す

【事業区分の変更】

・化学・非鉄素材事業は、化学事業、新素材事業をそれぞれ独立セグメント化するとともに、チタン・アルミ事業を製鉄事業に移管  
・その他の事業(電力事業及びサービス・その他の事業)は製鉄事業に移管



新日本製鐵株式會社

コード番号 5401 上場取引所 東京、大阪、名古屋、福岡、札幌

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 白須 達朗 TEL (03)3275-5014

<平成 19 年 3 月期 第 1 四半期決算の補足情報について>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期		上期	第2四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
H17年度	2,896	2,783	5,680	2,791	2,800	5,591	11,271
H18年度	2,897						

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理	ときわ会H形鋼
H13. 8 末	619 万トン	(136.3) (ピーク)	470 万トン(ピーク)	32.0 万トン
H13. 9 末	615	(125.4)	463	30.7
H14. 3 末	542	(107.6)	393	31.4
H14. 9 末	512	(102.2)	371	26.4
H15. 3 末	533	(104.0)	376	25.6
H15. 9 末	567	(114.1)	413	27.4
H16. 3 末	503	(94.7)	377	24.0
H16. 9 末	537	(101.3)	386	31.2
H17. 3 末	526	(98.2)	393	29.4
H17. 4 末	530	(109.6)	403	27.9
H17. 5 末	551	(112.2)	419	27.6
H17. 6 末	548	(108.3)	421	27.4
H17. 7 末	560	(114.1)	430	27.1
H17. 8 末	581	(125.0)	466	25.3
H17. 9 末	573	(111.8)	458	23.1
H17.10 末	579	(111.7)	456	23.1
H17.11 末	559	(108.4)	443	23.1
H17.12 末	555	(117.3)	426	24.6
H18. 1 末	570	(117.6)	445	26.8
H18. 2 末	555	(117.5)	436	28.0
H18. 3 末	528	(98.0)	414	29.5
H18. 4 末	529	(111.9)	409	28.5
H18. 5 末	543	(115.4)	415	28.0

〔当社〕

## 3. 出銑量(当社+北海製鉄)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H17年度	788	793	1,581	790	761	1,552	3,132
H18年度	754						

## 4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社+連結子会社

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H17年度	856	852	1,708	834	854	1,688	3,395
H18年度	845						

【参考：単独ベース】

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H17年度	785	788	1,573	762	785	1,547	3,120
H18年度	770						

## 5. 鋼材出荷量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H17年度	743	733	1,476	717	767	1,484	2,959
H18年度	759						

## 6. 鋼材平均価格

単位:千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H17年度	70.8	76.0	73.4	75.6	74.7	75.2	74.3
H18年度	(*)71.6						

(\*)H17年度第4四半期74.7千円/トンからの変動▼3.1千円/トンは、為替レート・品種構成の変動によるものである。

## 7. 鋼材輸出比率（金額ベース）

単位：%

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
H17年度	32.2	31.1	31.6	29.8	30.5	30.1	30.9				
H18年度	32.2										

## 8. 為替レート

単位：円/\$

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
H17年度	107	112	109	116	117	117	113				
H18年度	115										

以上